

セメンテックスVF-ウルトラ

超低収縮・軽量・速硬一材型ポリマーセメントモルタル 3～50mm

①

はじめに セメンテックスVF-ウルトラは、アクリル系粉末ポリマーを使用したプレミックスモルタルで、水を加えて練混ぜるだけで超低収縮のポリマーセメントモルタルとして使用できます。

作業性に優れるため、上向きの施工部位でも厚付けが可能です。また速硬性のため工期短縮や緊急補修工事に最適です。

②

特長

1. 超低収縮性で材齢28日で0.02%以下の収縮率
2. 速硬性タイプで施工後3時間で10N/mm²程度の圧縮強度発現
3. 1工程・最大施工厚50mmまで可能（欠損部）

③

用途

- ・ 鉄道、道路、水路、コンクリート覆工などの断面修復、欠損補修
- ・ 各種コンクリート構造物の断面修復、欠損補修
- ・ 内外壁の大断面欠損部における厚付け充填補修
- ・ 目違い、段差などの不陸調整
- ・ 最大施工厚：平面部20mm程度、平面欠損部50mm程度、天井欠損部30mm程度

④

標準配合 1袋当りの標準配合水

セメンテックスVF-ウルトラ	清水
10kg	1.75～2.0kg
備考)練混ぜ水量は、施工時の気温・施工方法により調整して下さい。	
1m ³ 当りの標準配合水	
セメンテックスVF-ウルトラ	清水
1,600kg(160袋)	280～320kg

⑤

荷姿 10kg 防湿紙袋入り

オバナヤ・セメンテックス株式会社

東京：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-6 香取ビル TEL:03-3663-7641/FAX:03-3661-0496

名古屋：〒467-0067 名古屋市瑞穂区石田町1丁目48番地 TEL:052-851-9361/FAX:052-851-9450

大阪：〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-26 天神第一ビル TEL:06-6305-0371/FAX:06-6305-0372

⑥

標準使用量

施工厚	粉体使用量 (m ² 当り)
10 mm	16 kg
30 mm	48 kg
50 mm	80 kg

⑦

基本物性

試験項目	試験結果	規格値	試験方法	
固化時間	1時間	断面修復材の固化時間は1時間以上であること	東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要項「左官工法による断面修復の性能照査項目」	
断面修復材の外観(塗装無し)	均一で、われ、はがれ、ふくれがない	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれのないこと		
硬化収縮性	硬化収縮率:0.02% 硬化に伴う発熱により反りかえりを認めない	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること硬化に伴う発熱により反りかえりがいないこと		
熱膨張性(／°C)	1.6 × 10 ⁻⁵	断面修復材の熱膨張係数は2.0 × 10 ⁻⁵ ／°C以下であること		
コンクリートとの付着性(N/mm ²)	湿潤時	1.8		コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上であること
	耐アルカリ性試験後	1.6		
	温冷繰り返し試験後	1.7		
塗装塗膜との付着性(N/mm ²)	1.2	塗膜と断面修復材との付着強度は1.0N/mm ² 以上であること		
圧縮強さ(N/mm ²)	35.8	補修設計で定めた設計基準強度以上であること		

⑧

規格適合 ・ NEXCO 断面修復材(左官工法)品質規格準拠
 ・ 東日本旅客鉄道 断面修復材規格準拠

⑨

使用上の
注意事項

- ① 気温3°C以下での施工は避けてください。
- ② 混練りは容器に規定量の清水を入れ、半分の5kgを十分に攪拌しモルタルが柔らかくなってから残りを徐々に入れ、3分以上十分に攪拌して下さい。(プロペラ型3枚羽根不可、門型羽根・攪拌回転数600回転程度のハンドミキサー推奨)
- ③ 練り混ぜた材料は、40分以内に使用して下さい。
- ④ 下地の吸い込みが大きい場合には、プライマー材を併用して下さい。
- ⑤ 直射日光、雨掛かりを避け、湿気の少ない場所で保管して下さい。
- ⑥ 本商品はアルカリ性を示しますので、皮膚に触れたりした場合、直ちに水で洗い流して下さい。

※本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をご請求下さい。

※製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承下さい。